

平成19年度当初予算と事業の概要

最少の経費で最大の効果を 予算総額は765億円



「そら ふれ あい ゆめ 空港、交流、希望、創造都市成田」の 実現に向けて

平成19年度予算案が3月定例議会で可決されました。

予算編成に当たっては、1月に執行された市長選挙に伴い骨格予算として編成しました。本号では平成19年度当初予算の概要についてお知らせします。

効率的な財政運営と健全性の確保

わが国の経済は、企業収益が改善し、雇用情勢や個人消費にも改善の広がりが見られ、企業部門の好調さが家計部門へ緩やかに波及し、民間需要に支えられた景気の回復が見込まれます。

本市の財政は健全性を保つていくところですが、成田新高速鉄道事業、新清掃工場および付帯施設建設事業、JR成田駅前・表参道整備事業などの大規模事業の推進

や新市の一体感の醸成、少子高齢化対策、成田空港関連事業、公共施設の老朽化対策などの課題が山積みしており、今後多額の財政負担が予想され財政運営は予断を許さない状況にあります。

このような状況下においても、2年目を迎えた新総合計画の実現に向けて、次ページ以降でお知らせする六つの基本方向に基づき重点施策を推進するため、効率的な財政運営と財政の健全性の確保を図りながら平成19年度当初予算を編成しました。

予算総額は、764億6,862

万円。その内訳は、骨格予算を編成しました一般会計では487億円。前年度と比較すると、8億円(△1.6%)減額となりました。

一般会計

特別会計は7会計で243億2,247万円。水道事業会計は34億4,615万円です。

歳入

歳入では、税源移譲、税制改正による個人市民税、新增築家屋の増などによる固定資産税の伸びなど、市税全体では290億9,593万円(59.7%)、前年度と

比較しますと15億3,300万円の増収となるものです。

次に国庫支出金ですが、41億8,722万円(8.5%)昨年より1,735万円の減、市債については学校建設などの終了により、32億9,180万円(6.8%)昨年より4億220万円の減となっております。

歳出

歳出では、民生費が前年比3億1,052万円増の105億521万円(21.6%)でトップになりました。

援事業、乳幼児健康支援一時預かり事業、福祉手当、見舞金支給事業などです。

2番目は総務費で前年比7億7,173万円増の104億9,487万円(21.6%)となり、成田新高速鉄道アクセス事業、コミュニティバス運行事業などに充てられます。

3番目は、教育費で前年比17億7,998万円減の59億8,401万円(12.3%)で学校適正配置検討事業、野球場整備事業などに充てられます。

会計別予算の内訳

一般会計 487億円

一般会計とは、市の基本的な行政を行うための会計です。くわしくは6・7ページをご覧ください。

特別会計 243億2,247万円

特別会計とは、特定事業を行う場合に一般会計と区分して経理する必要があるときに設ける会計をいいます。本市では次の7会計が設けられています。

- 国民健康保険……………102億2,329万円
(事業勘定)……………100億9,026万円
被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに際し、必要な保険給付を行います。
(施設勘定)……………1億3,303万円
国保大栄診療所で、医療サービス向上を図るため、被保険者などに対し診療を行います。
- 下水道事業……………21億5,231万円
都市排水施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ることを目的としています。
- 公設地方卸売市場……………2億4,637万円
青果物、水産物、生鮮食料品などを安定した価格で供給し、市民生活の向上を図ります。
- 老人保健……………66億5,301万円
老人医療受給者に、医療費を給付することを目的としています。
- 介護保険……………38億5,796万円
被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。
- 農業集落排水事業……………4億4,029万円
農業集落に排水施設を整備し、生活環境の改善を図ります。
- 簡易水道事業……………7億4,924万円
給水人口5,000人以下の地区に供給する小規模な水道事業です。

企業(水道事業)会計 34億4,615万円

企業会計として「水道事業会計」があります。

- ・ 水道事業収益(収益的収入)……………18億4,709万円
- ・ 水道事業費用(収益的支出)……………17億1,262万円
- ・ 資本的収入……………4億743万円
- ・ 資本的支出……………17億3,353万円

歳入額487億円

市税……………290億9,593万円 59.7%

内訳

- 固定資産税……………160億6,170万円
- 個人市民税……………75億723万円
- 法人市民税……………38億8,966万円
- 市たばこ税……………12億6,994万円
- 都市計画税……………1億9,090万円
- その他市税(軽自動車税など)
……………1億7,650万円

国庫支出金……………41億8,722万円 8.5%

市債……………32億9,180万円 6.8%

諸収入……………27億1,238万円 5.6%

地方消費税交付金……………17億円 3.5%

県支出金……………14億9,067万円 3.1%

分担金及び負担金……………14億6,079万円 3.0%

地方交付税……………10億円 2.1%

使用料及び手数料……………8億8,385万円 1.8%

地方譲与税……………5億8,600万円 1.2%

その他……………22億9,136万円 4.7%

市民一人当たりが負担する税額 238,237円

市税予算額(290億9,593万円)
÷平成19年2月1日現在人口(122,130人)

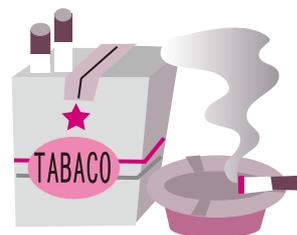
市民の皆さんが今年度に納める予定の市税を一人当たり
に換算すると23万8,237円になります。内訳のトップ
は固定資産税で13万1,513円。次いで市民税9万3,318
円、市たばこ税1万398円となっています。



都市計画税
1,563円



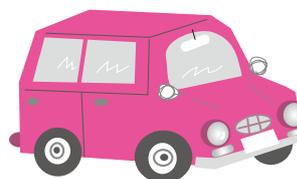
固定資産税
13万1,513円



市たばこ税
1万398円



個人市民税
6万1,469円



その他市税(軽自動車税など)
1,445円



法人市民税
3万1,849円

一般会計

歳出額487億円

市民一人当たりに使われるお金 398,755円

一般会計当初予算額(487億円)
÷平成19年2月1日現在人口(122,130人)

市民の皆さんに今年度いくら使われる予定かを、下のイラストで示してみました。市民一人当たり39万8,755円になります。内訳で一番多いのは、民生費で8万6,017円。次いで総務費8万5,932円、そして教育費4万8,997円の順になっています。

市民一人当たりの負担額(税金)が23万8,237円で、使われるお金が39万8,755円ですから差し引き16万518円の不足となります。不足分については、国や県からの支出金や市債などで賄われます。



総務費 85,932円



民生費 86,017円



土木費 47,331円



教育費 48,997円



消防費 22,492円



衛生費 44,756円



商工費 11,639円



農林水産業費 11,730円

その他 5,120円

公債費 34,741円

民生費……………105億521万円 21.6%

総務費……………104億9,488万円 21.6%

教育費……………59億8,401万円 12.3%

土木費……………57億8,056万円 11.9%

衛生費……………54億6,608万円 11.2%

公債費……………42億4,295万円 8.7%

消防費……………27億4,695万円 5.6%

農林水産業費……14億3,256万円 2.9%

商工費……………14億2,146万円 2.9%

その他……………6億2,534万円 1.3%

＜主な事業を紹介します＞

4 市民が地域文化を愛し、次代を担う心豊かな人材を育む

英語科研究開発事業……………1億1,919万円
学校適正配置検討事業……………500万円
学校規模の格差が拡大してきたことを受け、市内全域の学校適正配置を再検討します。

個性を生かす教育推進事業……………1億6,417万円
一人ひとりの能力・適性に応じた教育を推進します。

中学校屋内運動場耐震補強事業……………1億5,366万円

中学校大規模改造事業……………1億1,206万円

生涯学習会館管理事業……………293万円

生涯大学校施設整備事業……………2,930万円

囲護台地先に生涯大学校を移転し、5月に開校します。

国民体育大会開催事業……………317万円

平成22年に千葉県内で開催される第65回国民体育大会の準備を行います。

スポーツ広場等整備事業……………1,500万円

野球場整備事業……………1億5,245万円

大栄地区に野球場を整備するため、実施設計などを行います。

6 市民と行政が協働する効率的な自治体運営を行う

集会施設等維持管理事業……………1億28万円

電子自治体推進事業……………529万円

8月から、インターネットを通して一部の申請や届け出が可能となります。

庁舎改修事業……………777万円

行政評価事業……………500万円

事務事業および政策・施策評価を実施します。また、市民満足度調査を行い評価に活用します。



下校時間にあわせ巡回する防犯パトロール車

5 市民が安全、安心、快適に暮らせる生活環境をつくる

地域防災計画策定事業……………832万円

防犯啓発事業……………1,849万円

地域安全対策事業……………1,952万円

市内の防犯巡回パトロールおよび通学路の防犯パトロールを行います。

準用河川整備事業……………1億1,228万円

江川 140m(江川第1橋架替を含む)および長津川80mの整備を行います。

(仮称)公津分署整備事業……………2億4,516万円

航空機騒音地域補助事業……………1億422万円

民家防音家屋等維持管理費補助事業……………3億1,092万円

環境基本計画推進事業……………300万円

環境保全施策を総合的に推進するため、新基本計画を策定します。

一般廃棄物処理基本計画策定事業……………950万円

新清掃工場・付帯施設整備事業……………9,942万円

高次の安全性や公害防止機能、効率的な廃棄物処理機能を備えた施設を整備します。また、余熱を利用した温浴施設および多目的広場などを整備します。

生活道路整備事業……………7億1,224万円

(仮称)環境展示ホール整備事業……………500万円

移転跡地を活用した(仮称)環境展示ホールの実施設計を行います。

下水道事業特別会計繰出金……………7億2,394万円

簡易水道事業会計出資金・負担金……………2億1,600万円

水道事業会計出資金・負担金……………1億5,123万円



5月開校に向け、建設が進む生涯大学校

※平成19年度予算についてくわしくは財政課(☎20-1512)へ。

今年度行う基本方向に基づ

1 世界との交流拠点として 市民が誇れる都市をつくる

成田新高速鉄道アクセス事業……………34億9,931万円
平成22年度開業に向け、用地購入や鉄道建設経費に
対し出資および補助します。

(仮称)土屋駅整備事業……………1,000万円
成田新高速鉄道整備に合わせ、土屋地区に新駅設置
の実現に向けた調査を行います。

(仮称)ニュータウン北駅周辺(南側)、湯川線整備事業
……………1億3,297万円
成田新高速鉄道の開業に合わせて、駅前広場および
アクセス道路などの整備を行います。

コミュニティバス運行事業……………1億908万円
遠山、大室・小泉、水掛、豊住、しもふさ循環、津
富浦ルートを運行します。

幹線道路整備事業……………6億840万円

表参道整備事業……………3億1,143万円

建物のセットバックにより、歩行者空間を確保します。

大蕪新宮線整備事業……………2億8,223万円
中台地区から玉造地区までの494mを整備します。

赤坂台方線整備事業……………1億5,539万円
公津西土地区画整理事業区域から国道464号までの
1,300mを整備します。

(仮称)印旛沼簡易パーキング関連施設整備事業……1,000万円
印旛沼とふれあう関連施設整備の基本構想を策定し
ます。



建物のセットバックにより整備される表参道



市街地と空港を結ぶ観光循環バス

2 市民がいきいき働く 活力ある産業を育てる

(仮称)下総親水広場整備事業……………500万円
「ふるさと産品マーケット誘致事業」を具現化するた
めの基本計画を策定します。

観光循環バス運行事業……………1,493万円
JR成田駅から新勝寺などの市街地や空港を循環する
レトロ調のバスを運行します。

観光活性化事業……………1,408万円

水田農業構造改革対策事業……………9,837万円

農道整備事業……………1億380万円

排水路整備事業……………2億770万円

中小企業資金融資事業……………10億4,119万円

中小企業の資金調達の円滑化を図ります。

公設地方卸売市場特別会計繰出金……………9,227万円

農業集落排水事業特別会計繰出金……………1億4,069万円

3 市民一人ひとりの健康で 生きがいを持った生活をささえる

指定介護予防支援事業……………3,511万円
要支援者に、自立の向上を目指した介護予防のマネ
ジメントを行います。

障がい者施設利用支援事業……………4億4,828万円

ファミリー・サポート・センター推進事業……61万円

乳幼児健康支援一時預かり事業……………740万円

集団保育や家庭での保育が受けられない、病児・病
後児の保育を行います。

乳幼児医療対策事業……………2億5,072万円

小学校就学前の乳幼児の通院および入院医療費を助
成します。

障がい者地域生活支援事業……………1億7,315万円

AED設置事業……………441万円

公共施設に18台、市民団体主催行事への貸出用3台
を整備します。

健康診査事業……………8,992万円

生活習慣病の早期発見・治療を目的に健康診査を
実施します。

国民健康保険(事業勘定)特別会計繰出金

……………11億2,799万円

老人保険特別会計繰出金……………5億3,936万円

介護保険特別会計繰出金……………5億6,515万円